

FIGHT ON

高松中学校長 塚田 秀和

3年学年主任 安原 広樹

進路希望の実現に向けて…できる理由を積み上げる

先日の進路説明会を終え、私たちは具体的な進学先決定への道筋を把握することができました。最終回となる第4回進路希望調査も提出をし終え、学級担任の先生を中心に、学年の先生方との面談も具体的な内容に及んでいます。約1カ月後には国立・私立の推薦入試が、約2カ月後には私立の一般入試が行われる時期へと差し掛かりました。繰り返しになりますが、12月の三者懇談にて、国立・私立の受験の有無と受験校の決定を確認します。受験校に迷いがある人は、保護者と具体的な話し合いを進めておきましょう。そして、提出した進路希望に変更が生じた際は、速やかに学級担任の先生に報告・相談をしてください。今後も面談は随時行っていますが、進路のことに限らず心配なことや不安なことがあれば、いつでも「相談したいことがあります。」と申し出てください。この一言を先生方は待っています。さて、12月の学校生活は受験当日を意識して行動に移しましょう。授業中の座る姿勢はよりよく、休み時間は学習にも時間を割きましょう。そして、頭髪や服装の身なりも受験当日と同じであることを望みます。そうして一度きりの本番を意識しながら一日一日を大切に過ごす中で、着実に受験に向けた準備を整えていきましょう。準備とは「できない言い訳を一つ一つ失くし、できる理由を一つ一つ積み上げていくこと」です。私たちなら高め合いながら最良の準備を仕上げることができます。最後になりますが、以下に先生方からの受験期を過ごす私たちへの応援メッセージを紹介します。参考になれば幸いです。

・3点固定（起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻）を徹底しましょう。また、家庭でも「50分学習—10分休憩」という学校生活のリズムを活用しましょう。漢字の読み書きなど言語知識は就寝直前に短時間集中で行うルーティンにすることが有効です。何でもまずは試してください。（安原 広樹）

・勉強ばかりで、ずっと暗いトンネルの中を歩いているような気分だと思います。しんどいときは、自分が、志望校に通っている姿を想像してみてください。きっと、楽しく高校生活を過ごしている姿を想像することができるのではないのでしょうか。その姿をモチベーションにして、受験を乗り越えていきましょう！そのキラキラとした高校生活を過ごせるのは、高校受験を本気で乗り越えた人だけです！
ガンバレ、高中3年生☆彡（地藤 璃紅）

・何から始めればよいのか考えているより、やるべきことを決めて学習しよう。多くの内容に取り組むより、確実にやり切れる内容を計画的に取り組もう。やる気は始めると湧いてくる。やったことが、「あなたの力」となり「自信」となる。行動するのみ！！（政近 顕純）

・ここからは「自覚」と「責任」と「決断」です。自分の未来を見据えた時、「今」の自分の行動はどうですか。受験生としての「自覚」をもつことができますか。限られた時間の中で何を「決断」するのか、できるのか。また、その「決断」に対して「責任」をもつことができますか。この3つは、今から人生を歩んでいくうえで、どんな場面でも大切になってきますよ。では、みなさんが自分にとって、より良い未来を迎えることを期待しています。（永山 怜渚）

